



“人の役に立ちたい！”という熱い思いをもつ仲間が集まって、キーワードは自分たちで「気づこう！」・「考えよう！」・「実行しよう！」ぜんぶ自治です！



「がんばれ〜!!」の気持ちを募金にして、送ることなら、私たちにできるぞ!と「気づき・考え・実行」しています。1年間で13万円くらいを募金しています。



平田地区には一人暮らしの高齢者が約140人、体が動かしにくい方が何千人もおられるそうです。ふれあうことでお互いに心が通じて笑顔になれるし、気づくこと・学ぶことがたくさんあります。



子どもたちを ほめてあげると、できることがどんどん増えていくのを肌で感じられます。
ケンカした時のあやまり方や、危険なことは何か、等々、保育士さんや子どもたちから学んでいます。



体が不自由な方も安心して暮らせるにはどうしたらいいかを、教えてもらっています。
受講者全員が島根県の“あいサポーター”になりました。バッジをつけて理解と協力を表します。



花の種は地域のボランティア団体からいただき→それを自分たちで育て→
→次に喜んで育ててくださる方々へプレゼント…という、循環をしています。



ゴミを減らそう！と地域のNPO団体や家庭クラブと連携し、古布を裂いて布草履用にしたり、リユース食器を借りたり、ペットボトルキャップ回収等々。排出二酸化炭素を1年間で約800Kg減らしました。



地域の行事でスタッフとして活動しています。体の不自由な方や、突然の病気や事故や災害があった時に、どうすればいいかを、子どもの私たちが発信していくと、皆さんが関心をもってくれますよ。



もし、目の前で人が倒れたら、どうしますか？
いざという時のために、応急対処の方法を練習し、救急員の資格もとりました。



その救急法がどのくらいできるようになったかを、競う大会もあります。中学生から80歳代まで、幅広い年代・幅広い社会的立場の人たちが参加します。今回は島根県でベスト3位になりました。



「災害など緊急時に、私たち高校生には何ができるか」というテーマで、研究発表しました。2年連続で“最優秀賞”を受賞することができ、全国大会に出場することになりました。



夏はサンレイクで小・中・高・特100人、リーダーシップ研修です。「地域で 人のために 役に立ちたい！」という熱い思いをもった子どもたちが熱く活動します。島根県代表で全国にも出場した部員もいます。



何をしたら喜んでもらえるかな？といつも考えています。今回は“七福神の飛び出す立体カード”を作り、一人暮らし高齢者宅を福祉推進員さんと一軒ずつ訪問しました。お礼にお花をいただき温かくなりました。



地域でいろいろな活動をしていることを、地域の方々や日本赤十字社の方々が見てくださっていたようで、「島根県優良少年団体表彰」を受けることができました。部員みんな“もっと人の役に立てよう！”と喜びました。